

いふことを、アジ、プロすること。

五、工場野球團を組織して、青年分子を獲得すること。

六、坊主のお説教の偽隔性を暴露し、それと同時に、工場座談會を計畫すること。

七、以上の諸闘争をすべて闘争委員會（スト委員會）の結成に結びつけて闘ふこと。

八、以上の諸闘争の過程に於て分會の擴大を計ること。

九、右翼組合の中の戦闘分子を獲得して反対派を結成せしめること。

(チ)大體以上の闘争方針がたつたら、かうした方針は、本部、支部、の執行委員と工場オルグと分會の中心分子とでたてる。その方針に基いて、あらゆる契機をとらへて、時々刻々に闘争を敢行すればいゝのである。

(リ)例へば、その工場内のある職場で、ベルトに巻きこまれて大ケガをしたものがあるとすると。その場合は、分會は、いち早くこの問題を取り上げ、分會ニュースその他を通じて、工場内の危険防止設備の不健全なこと、X君の問題は

といふやうな名を用ひても差支つかない。要は全従業員を包擁した、大衆的な闘争組織の確立に在るのだ。更らに、前述の工場のような場合には、事件の取り扱ひをグラフ組合に依頼しようとするものが必ず出て来るに相違ないのだから、グラフに對する猛烈な闘争が必要だ。

(ル)以上に述べたやうな事件のほかにも、いろ／＼の事件が工場にもち上るに相違ないのであるから、分會はそれを常に率先して取り上げ、それを基本的闘争方針にしたがつて、指導しなければならぬのである。分會がさうした個々の闘争を巧みにリードすれば、その集團には、必ず戦闘的大衆があつまり、分會はいやでも擴大する。

E 分會の活動と戦闘的工場委員會

(イ)戦闘的工場委員會の問題は、左翼組合が、如何にして工場内の全大衆を闘争へ動員するかの問題だ。『左翼労働組合は、戦闘的工場委員會の基礎の上に立たなければならぬ』と『ロソフスキー』は言つてゐるが、戦闘的工場委員會を確立することなくして、分會が尨大なる未組織大衆を動かすことは不可能だ。

單にX君だけの問題ではなく全従業員にふりかゝつてゐる問題だといふこと、並に、會社へ要求して危険防止設備を完成させ、且つ、X君へ慰養料、治療代として金何千圓を出させるべきだといふこと』等々をアジプロすること。そして、この問題は、當然、共済組合の問題になることであるから、即刻、その總會の開催を要求し、代表者に、以上のことを會社へ要求させる。

(ヌ)もし會社がそれを承認したら、その勝利を利用して、共済組合の自主的工場委員會化のために全力を挙げる。もしまた會社がそれを拒絶したら、それを契機に、直ちに闘争委員會結成の必要をアジプロして、その結成運動に取りかゝり、その闘争委員會をリードして、着々賃下げに對するストライキの準備を進める。(但しさうした場合に注意しなければならぬのは、いきなり、ストライキだ！ストライキだ！といふやうなことを、ガナリたてて行かなくては、ストライキへの流れを注意深くリードして行かなくてはならぬといふことだ。闘争委員會の如きも、最初からストライキ委員會の名を使用しなければならぬといふやうなことは無い。状態によつては、『何々工場全従業員協議會』

(ロ)例へば、従業員一千人の工場に二十人の分會が出来たとすると、その場合に、その二十人の分會は、残りの九百八十人——その中には、總同盟全國労働・總聯合、等の右翼組合に組織されてゐるものもあるだろうし、未組織のものも在るに相違ない——の大衆を闘争に動員すべき任務が當然果せられる。さうした場合に、そのための最善の方法として與へられてゐるのが、戦闘的工場委員會確立による方法である。(だから工場内の基本的闘争方針を決定する場合には、必ずこの戦闘的工場委員會の結成が、中心目標の一つになされなければならない。)

(ハ)戦闘的工場委員會の任務、組織、等に関しては、別の議案に詳述されてゐるから、茲には戦闘的工場委員會の組織と任務について、その骨組みだけを述べることにする。

(ニ)戦闘的工場委員會の組織は——

一、一工場を單位として作ること。

二、一工場内の全労働者を包擁すること(組合關係組織未組織の關係を全然離れて)

三、各職場の代表者によつて、全工場従業員を代表する中央集權的委員會が作られること。